

LINE
公式アカウント

instagram

すみれ

2021年
5/21(金)

Vol.95 四国医療福祉専門学校 NEWS

学校新聞編集委員会

香川県高松市上之町2丁目12番30号

TEL: 087-867-7676 mail:hope@shikoku-if.ac.jp

◇バックナンバーはホームページ上で閲覧可能です。

第23回入学式を挙行 ～与えられる責任を果たせる社会人へのスタート～

4月5日(月)本校にて第23回入学式が挙行された。今年の入学式も入場者数を制限するなど、さまざまな新型コロナウイルス感染防止対策が取られた中での入学式となった。

森校長先生は式辞の中で「皆さんの目指す職業は人の生活、健康、命にも関わることであって、その人の人生を左右することもあります。そして紛れもなく人の役に立つ為のものです。誰かの役に立つということは大変素晴らしいことではありますけれども、責任を伴うことでもあります。それぞれの学科において何が大切か、何が必要かを学び、あわせて社会人としての基本である挨拶、感謝、笑顔を身に付けて下さい」と期待を述べた。

入学生代表 臨床工学学科の藤原 未侑くんは誓いの言葉の中で「本校の教育目標にある挨拶、感謝の心、笑顔を身に付け、社会において信頼される人格とともに、専門知識と技術を習得し、困っている人を助けることが当たり前でできる優しさを持った人間となることをお約束します」と力強く決意を語った。

力強く誓いの言葉を語る
新入学生代表の藤原くん

新入生への期待を込めて式辞を述べる森校長先生

歓迎の言葉を送る
在校生代表の江崎さん

また在校生を代表して医療事務学科2年生の江崎 希映さんは「目の前に困難な壁が立ち塞がっても、決して諦めないで、夢への実現に向けて、お互いに信頼される職業人を目指して、向上の道を歩んでいきましょう」と歓迎の言葉を送った。

各学科キャッチフレーズのご紹介 ～こんな学生に育て欲しい～

「生活支援のプロになる！」介護福祉学科

「利用者様の人権尊重を第一に、感謝の気持ちで寄り添い、礼儀正しく笑顔でケアを提供できる介護福祉士」

「受付対応と医療情報のプロになる！」医療事務学科

「患者様に対して、思いやりの気持ちを持って礼儀正しく接することができ、迅速で正確な事務処理のできる医療事務員」

「医療機器で命と向き合うプロになる！」臨床工学学科

「患者様ファーストの考えを持ち、的確な判断と技術で「医」と「工」を繋ぎ、チーム医療を支えることができる臨床工学技士」

学科間連携授業を実施 介護現場で役立つ医学知識とは

介護
福祉

4月27日(火)2年生が本校臨床工学学科の泉 智子先生から医療分野に関する特別講義を受けた。講義では実際に人工透析装置やペースメーカに触れたり、糖尿病や心臓疾患のある方の生活を支援するにあたり注意すべき点が紹介された。

講義後、学生からは「人工透析やペースメーカなど医療面の知識を得ることができた」「これから介護の仕事をするうえで、様々な医療支援が必要な方々の対応方法が理解できた」など介護福祉士として必要とされる医学知識を学ぶ機会となった。



介護福祉士として勤務する上で役立つ医学知識を学んだ

情報・モラルセキュリティ講座 情報管理の大切さを学ぶ

医療
事務

4月16日(金)情報通信交流館 e-トピア・かがわ(高松市)の小西 敏子先生を招いて、「スマートフォンの安全で正しい使い方」をテーマに情報モラル・セキュリティ講座を実施した。

SNSは日常生活のツールの1つで身近なものであるが、現実世界の不平不満を吐き出す場になりやすく、文字でのやり取りだけなので、批判的に捉えられる等の誤解が生じやすい。その為、人を傷つけることの無いよう、相手がどう思うかを想像し、最低限のモラル・マナーを守り、責任を持つての情報発信が大切である。

特に、医療分野においては、多くの個人情報保有していることから、その情報管理能力が問われる。

様々な情報を目にする中で、飛び交うデマやフェイクニュース等の誤った情報に踊らされず、信頼できる情報かどうかを見極め、上手に使う必要があることを学んだ。



情報管理の大切さを話す小西先生

レクリエーション支援 面白さ・楽しさを体感しよう

介護
福祉

5月10日(水)2年生が車いすを使用している高齢者を想定したレクリエーション支援を行った。

学生たちは「どうすれば対象者に楽しんでもらえるのか」、「またどのような点に配慮すべきか」など試行錯誤しながら計画・準備をして実際の支援につなげた。

人前で支援をすることに緊張する学生も見られたが、楽しく和やかな時間を共有している様子が多く見られ、レクリエーション支援の面白さ、楽しさを体感することが出来た。



レクリエーション支援を行う学生

歯科アシスタント講習を実施 知識と技術の両面を学ぶ

医療
事務

5月12日(水)2年生を対象に香川県歯科医療専門学校 衛生士科の池田 真弓先生と伊達 早苗先生をお招きして、歯科医院における医療事務スタッフの役割と歯科治療器材を学ぶ特別講義を実施した。

まず歯科医院での業務内容、診療室で求められる基礎知識、口腔の役割について学んだ後、歯科材料を使用した診療補助体験として、印象を練って型を取る練習、セメントを練る練習を行った。

また最後には学生自身にも歯の健康を考えてもらう為に正しい歯磨きの方法についての講義があり、有意義な講習を終えた。



診療補助体験をする学生たち

新入生インタビュー ～入学後1ヶ月の感想を聞きました～

- Q.1 なぜ介護福祉士 or 医療事務スタッフ or 臨床工学技士を目指そうと思いましたか？
 Q.2 この学校に入学したのはなぜですか？ Q.5 先生の印象はどうですか？
 Q.3 入学前に不安だったことは？ Q.6 目指す将来像は？
 Q.4 授業を受けてみてどうですか？

介護福祉学科1年生 中山 朋美さん (香川県立志度高等学校出身)



- Q.1. 「小さい頃から大好きな祖父母に、私が介護のことを学んで今後少しでも恩返しをしたいと考えていたからです」
- Q.2. 「オープンキャンパスに参加し、先生方の優しさを感じたことと、自宅から通えるところで介護の勉強をしたいと思ったからです」
- Q.3. 「新しい環境に慣れることができるのか不安でした。しかし、今では友達もできて、学校にも少しずつ慣れてきたので、毎日楽しく過ごしています」
- Q.4. 「一つひとつ丁寧に教えてくださるので、とても分かりやすいです」
- Q.5. 「どの先生もととても優しく接して下さるので、話しやすいです。また、じっくり話を聞いてくださるので質問も相談もしやすく安心できます」
- Q.6. 「笑顔を絶やさず、利用者の方に寄り添える介護福祉士になりたいと思います！」

医療事務学科1年生 秋山 和奏さん (香川県立高松工芸高等学校出身)



- Q.1. 「医療系の仕事に就きたいと考えていたとき、友人に医療事務の仕事について教えてもらい自分でも調べていくうちに、病院だけではなく、色々な場所で活躍できると知り医療事務スタッフを目指そうと思いました」
- Q.2. 「学校の雰囲気良さや、受けられる資格試験の多さ、その資格試験の合格率が高かったからです」
- Q.3. 「初めてする勉強ばかりなので、ついていけるか不安でしたが、分からないところは先生が理解できるまで教えてくださいなので、今では楽しく勉強しています」
- Q.4. 「ずっと教室で椅子に座って勉強ばかりかと思っていたのですが、距離をとった状態でクラスメイトと実習授業も出来ていて、とても楽しいです！」
- Q.5. 「授業の内容で分からないところがあった時に質問すると、もう一度丁寧に説明して下さり、理解できるまで熱心に教えてもらえて、とても学生思いの先生です」
- Q.6. 「この学校で学んだことや取得した資格を活かして患者様に安心して来院していただける医療事務スタッフになりたいです」

臨床工学学科1年生 杉浦 友哉さん (香川県立志度高等学校出身)



- Q.1. 「高校で電気系の勉強をしているときに、医療系の学校に進学している姉から臨床工学技士のことを聞いて、自分が高校で学んできたことをさらに役立てられそうだと思う興味を持ちました」
- Q.2. 「4年制大学と同じ資格が3年間で取れることと、オープンキャンパスで先生との距離を近く感じられたからです」
- Q.3. 「高校時代に学んだものの、理解不足の分野もあり不安だったのですが、改めて教えてくれるのでありがたいです」
- Q.4. 「数学の公式等も、仕組みから説明してくれてわかりやすいです」
- Q.5. 「優しく質問しやすいです」
- Q.6. 「まだ臨床工学技士について理解不足なので、勉強しながらどういう技士になりたいか考えていきたいです」

新入教員インタビュー 亀田 勇樹 先生 (臨床工学学科)



Q.自己紹介をお願いします。

A. 生まれも育ちも鹿児島県の種子島です。学生時代は徳島に8年ほど住んでおりましたし、両親の新婚旅行も四国だったそうです。再び四国の地を踏むこととなり、なにかと縁を感じます。よろしくお願いします。

Q.これまでの経歴を教えてください。

A. 種子島の高校卒業後は徳島の大学で宇宙物理学を専攻し、修士号を取得しました。その後、地元の病院の誘いで臨床工学技士の免許を取得することとなり、神奈川の大学で学ぶことになりました。卒業後は種子島に戻り地元の病院で臨床工学技士として手術室、中央管理、人工呼吸器、高気圧酸素、人工透析の業務に従事しました。

Q.臨床現場での経験で印象深いことは？

A. ある日の深夜、緊急搬入された患者さんがいました。顔を見ると生まれた時から知っている近所のおじさんで、生命維持装置をつなぎ、なんとか持ち直しました。透析室に配属になると今度は透析導入し2日に1回は顔を合わせるようになりました。病院勤務の最終日「家族を大事に。がんばれ！」と送り出されました。私が高松に来て数日後、この方は亡くなりました。慣れない環境に家族も苦労していますが一緒に頑張ろうと思います。

Q.なぜ教員になろうと思いましたか？

A. 学生時代に臨床工学科の先生方に大変良くしていただいて憧れがありました。また、10年ほど塾講師の経験もあり、臨床現場で働くより優秀な技士を現場に送り出す方が、より貢献できると考えて教員になりました。

Q.どんな臨床工学技士になって欲しいですか？

A. 臨床工学技士としての信念を持って欲しいです。臨床工学技士は比較的資格の歴史が浅く、仕事内容が未確定の領域もあります。それでも「医療機器を通して患者さんの安全を守る」という本分を忘れず芯の通った仕事をしてもらいます。

そのためにあるべき技士像というものを確立させてほしいと思います。理想とするものを純粋に学べるのは学生である今のうちです。現場では現実と直面し、何が正しいのか分からなくなることもたくさんあるでしょう。技法や医療安全学、教員の方々の臨床経験を通して自分の中での基準を持ってもらいたいです。それが1つの道標となってくれると思います。

Q.医療系を目指す高校生へのメッセージを

A. 日頃学んでいる科目が何の役に立つのか疑問に思うかもしれません。私は臨床工学を学び、知識が人を助ける技術に変換されていくことをとても面白く感じました。進学する1つの意味はこの変換を行うことにあると思います。医療系の仕事を目指す中でも今の勉強はきっと身を助けますので頑張ってください。

今後の主な行事予定

6月	1日(火)	歯科助手受付秘書講習会(医療事務)	7月	9日(金)	前期試験・再試験(医療事務)(~14日)
	4日(金)	電卓技能検定試験(医療事務)		11日(日)	オープンキャンパス 診療報酬請求事務能力認定試験(医療事務)
	11日(金)	日本語検定(医療事務)		12日(月)	前期試験(臨床工学)(~16日)
	12日(土)	秘書技能検定試験(医療事務)		15日(木)	施設実習①(医療事務)(~30日)
	13日(日)	日商簿記検定試験(医療事務)		16日(金)	介護実習I事前指導(介護福祉)
	15日(火)	介護実習Ⅲ事後指導(介護福祉)		19日(月)	前期試験(介護福祉)(~21日) 介護実習I(介護福祉)(~8/4日)
	20日(日)	オープンキャンパス			施設実習②(医療事務)(~8/3日)
	26日(土)	オープンキャンパス			
7月	1日(木)	歯科助手受付秘書講習会(医療事務)		22日(木)	オープンキャンパス
	2日(金)	日本漢字能力検定		26日(月)	臨床実習(臨床工学)(~10/8日)